

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

化学品（製品）の名称：ファインシェード除去剤
推奨用途及び使用上の制限：遮光剤用剥離剤
供給者の会社名称：アキレス株式会社 フィルム工場
住所：栃木県足利市借宿町 6 6 8
電話番号：0284-73-9890
ファックス番号：0284-73-9814
緊急連絡電話番号：03-5338-9292

（本社化成品BU農業資材販売部：月曜～金曜 平日午前 9 時～午後 5 時）

2. 危険有害性の要約

GHS 分類

物理的及び化学的危険性：分類できない。
健康に対する有害性
急性毒性（経口）：区分に該当しない。
眼に対する重篤な損傷性/刺激性：区分 1
発がん性：区分 2
環境に対する有害性：分類できない。
その他の項目は分類対象外、または分類できない。

ラベル要素

絵表示：



注意喚起語：危険

危険有害性情報

- ・ H318 重篤な目の損傷
- ・ H351 発がんのおそれの疑い

注意書き

[安全対策]

- ・ P280 保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。
- ・ P201 使用前に取扱説明書を入手すること。
- ・ P202 全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
- ・ P273 環境への放出を避けること。

[応急処置]

- ・ P305+P351+P338 眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
- ・ P310 直ちに医師に連絡すること。
- ・ P308+P313 ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師の診察／手当てを受けること。

[保管]

・ P405 施錠して保管すること。

[廃棄]

・ P501 地域／国／国際規則に従って容器や内容物を廃棄すること。

[使用上の注意] : 記載すべき情報はない

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物質・成形品の区別 : 混合物

化学名または一般名（CAS No.）と含有量

化学名または一般名	CAS No.	含有量 (%)
ポリオキシアルキレンイソデシルエーテル	154518-36-2	7. 5
エチレンジアミン四酢酸四ナトリウム	64-02-8	5
ヤシ脂肪酸ジエタノールアミド	68603-42-9	1. 7
112-34-5	112-34-5	2. 2
水	7732-18-5	80未満
その他	非公開*	残分

※成分詳細は社外秘につき非公開

4. 応急処置

吸入した場合	: 新鮮な空気のある場所に移動させて安静にし、必要に応じて医師の診断を受ける。
皮膚に付着した場合	: 汚染された衣服・靴等は速やかに脱ぎ、直ちに多量の水で十分に洗浄し、希酢酸水（0. 5～2%水溶液）でぬるぬるする感じがなくなるまで洗う。 更に水で洗浄し、速やかに医師の処置を受ける。
眼に入った場合	: 直ちに清浄な流水で、15分以上洗眼する。眼を擦ってはならない。その後、速やかに眼科医の診察を受ける。
飲み込んだ場合	: 水で口の中を洗浄し、コップ1～2杯の水又は牛乳を飲ませる。 直ちに医師の処置を受ける。必要に応じて、人工呼吸や酸素吸入を行う。 被災者に意識がない場合は口から何も与えてはならない。
急性症状及び遅延性症状の最も重要な症状/影響	: 眼、皮膚接触の場合、発赤、痛み等。
応急処置をする者の保護に必要な注意事項	: 記載すべき情報はない
医師に対する特別な注意事項	: 記載すべき情報はない

5. 火災時の措置

適切な消火剤 : この製品自体は燃焼しない。周辺火災の種類に応じた消火剤を用い

使ってはならない消火剤	： 情報なし
火災時の特有の危険有害性	： 高温により水分が蒸発した後、熱分解により有害な窒素酸化物、一酸化炭素等を発生するので、消火作業の際には煙の吸入を避ける。
特有の消火方法	： 火元への燃焼源を断ち、適切な消化剤を使用して消火する。 消火作業は、可能な限り風上から行う。 関係者以外は安全な場所に退避させる。 周囲の設備などに散水して冷却する。 消火のための放水等により、製品もしくは化学物質が河川や下水に流出しないように適切な措置を行う。
消火活動を行う者の特別な保護具および予防措置	： 消火作業では、火災による熱分解で有害ガスを発生させるおそれがあるため、適切な呼吸保護具を着用し風上から消火し、煙の吸入を避ける。 分解有害ガス（窒素酸化物、一酸化炭素等） 格納容器は、水噴霧によって低温に保つ。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置	： 適切な保護具（手袋、眼鏡、マスク等）を着用し、眼や皮膚への接触やミスト等を吸入しないようにする。すべての着火源を取り除く。 近傍での喫煙、火花や火災の禁止。直ちにすべての方向に適切な距離を漏洩区域として立ち入り禁止とする。関係者以外は近づけない。
環境に対する注意事項 封じ込め及び浄化の方法 及び機材	： 漏出物を直接河川や下水に流してはいけない。 ： 少量の場合は、吸着剤（土・砂・ウエス等）で吸着させ取り除いた後、雑巾などでよく拭き取り、大量の水で洗い流す。 多量の場合は、盛り土で囲って流出を防止し、安全な場所に導いてから回収・処理する。必要があれば、希塩酸、希硫酸等で中和する。中和の際は、発熱、発煙等に注意する。
二次災害の防止策	： 床に濡れた状態で放置すると、滑りやすくスリップ事故の原因となる為注意する。 漏出物の上をむやみに歩かない。 排水溝、下水溝、地下室、あるいは閉鎖場所への流出を防ぐこと。

7. 取扱い及び保管上の注意

<取扱い>

技術的対策	： 取り扱い場所の近くに、洗眼及び身体洗浄のための設備を設置し、保護眼鏡、保護手袋等の適切な保護具を着用し、ミスト等の飛散がないように取り扱う。 作業場の換気を十分に行う。 万一作業衣や靴に付いた時には、直ぐに清潔なものに取り替える。 取扱い後は、手、顔をよく洗い、うがいをする。
安全取扱注意事項	： 作業場内では、飲食及び喫煙をしてはならない。 取り扱い後は、手、顔を良く洗い、うがいをする。 眼及び皮膚への接触を避ける。 容器から出し入れするときは、こぼれないようにする。 使用する場合は良く攪拌して均一にしてから使用する。

接触回避	: アルカリ性なので、酸性の製品との接触を避ける。
＜保管＞	
安全な保管条件	: 通気の良い一定の場所で、容器を密栓し保管する。 酸性物質と一緒に保管しない。
安全な容器包装材料	: 製品使用容器に準ずる。 アルミニウム、真鍮などの軽質金属に対して腐食性があるため、 ステンレスまたはポリエチレン容器等に保管すること。

8. 暴露防止及び保護措置

＜許容濃度等＞	
日本産業衛生学会	: 設定されていない（2024年）
ACGIH	: 設定されていない（2023年） （参考）ジエチレングリコールモノブチルエーテル TWA 10ppm
設備対策	: 蒸気またはミストが発生する場合は、局所排気装置を設置する。 取扱い場所の近くに、洗眼及び身体洗浄のための設備を設置する。 緊急時に備えて、十分な保護具を常備する。
＜保護具＞	
呼吸用保護具	: 必要によりアルカリ用防毒マスク
手の保護具	: 不浸透性（耐薬品、耐油、耐溶剤）保護手袋
眼、顔面の保護具	: 側板付き保護眼鏡（必要によりゴーグル型又は全面）
皮膚及び身体の保護具	: 保護長靴（ゴム長靴）、保護衣（ビニール製、耐アルカリ性）
＜特別な注意事項＞	: 記載すべき情報はない

9. 物理的及び化学的性質

物理状態	: 液体
色	: 淡黄色透明液体
臭い	: わずかに特異な臭気あり
融点／凝固点	: データなし
沸点又は初留点及び沸点範囲	: データなし
可燃性	: データなし
爆発下限界および爆発上限界/可燃限界	: データなし
引火点	: 引火しない
自然発火点	: データなし
分解温度	: データなし
pH	: 9.5～10.1（原液 代表値）
動粘性率	: データなし
溶解度	: 水溶解性；水に可溶 溶媒溶解性；データなし
n－オクタノール／水分配係数（log 値）	: データなし
蒸気圧	: データなし
密度及び／又は相対密度	: 1.050～1.070（20℃）
相対ガス密度	: データなし
粒子特性	: データなし
その他のデータ	: データなし

10. 安定性及び反応性

反応性	: 自己反応性なし。
化学的安定性	: 通常の使用条件で安定
危険有害反応可能性	: 記載すべき情報はない
避けるべき条件	: 酸との接触を避ける。
混触危険物質	: 酸性物質と接触すると発熱する。 アルミニウム、真鍮等の軽質金属
危険有害な分解生成物	: 記載すべき情報はない
その他	: 記載すべき情報はない

11. 有害性情報

急性毒性（経口）	: 区分に該当しない；ATEmix>2000mg/kgの為
急性毒性（経皮）	: 記載すべき情報はない
急性毒性（吸入）	: 記載すべき情報はない
皮膚腐食性／刺激性	: 記載すべき情報はない
眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性	: 区分1；区分1の成分(ポリオキシアルキレンイソデシルエーテル)が≥3%の為
呼吸器感作性	: 記載すべき情報はない
皮膚感作性	: 記載すべき情報はない
生殖細胞変異原性	: 記載すべき情報はない
発がん性	: 区分2；区分2の成分(ヤシ脂肪酸ジエタノールアミド)≥1%の為
生殖毒性	: 記載すべき情報はない
特定標的臓器毒性（単回ばく露）	: 記載すべき情報はない
特定標的臓器毒性（反復ばく露）	: 記載すべき情報はない
誤えん有害性	: 記載すべき情報はない
その他	: 記載すべき情報はない

12. 環境影響情報

生態毒性	
水生環境有害性 短期（急性）	: 記載すべき情報はない
水生環境有害性 長期（慢性）	: 記載すべき情報はない
残留性と分解性	: 記載すべき情報はない
生物蓄積性	: 記載すべき情報はない
土壤中の移動度	: 記載すべき情報はない
他の有害影響	: 記載すべき情報はない
オゾン層への有害性	: 記載すべき情報はない

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物	: 廃棄する場合は、都道府県知事の許可を受けた産業廃棄物の収集運搬業者や処分業者と契約し、廃棄物処理法及び関係法規・法令を遵守し、適正に処理する。 本品の低濃度廃水は、その濃度に応じた処理法を適用し、適正に処理する。
汚染容器・包装	: 空の汚染容器・包装を廃棄する場合、内容物を除去した後に、都道府

県知事の許可を受けた産業廃棄物の収集運搬業者や処分業者と契約し、
廃棄物処理法及び関係法規・法令を遵守し、適正に処理する。

1 4. 輸送上の注意

＜国内規制＞

陸上輸送 : 消防法、労働安全衛生法等に定められている輸送方法に従う
海上輸送 : 船舶安全法に定められている輸送方法に従う
航空輸送 : 航空法に定められている輸送方法に従う

＜国際規制＞

: I A T A 及び I M D G の規則に従う。

国連番号 : 該当しない

品名 : 該当しない

国連分類 : 該当しない

容器等級 : 該当しない

海洋汚染物質 : 該当しない

MALPOL 73/78 附属書 II 及び : 該当しない

IBCコードによるばら積み輸

送される液体物質

＜輸送または輸送手段に関する
特別の安全対策＞ : 輸送前に容器の破損、腐食、漏れ等がないことを確認する。
転倒、落下、損傷がないように積み込み、荷崩れの防止を確
実に行う。

1 5. 適用法令

化審法

特定化学物質 : 該当しない

監視化学物質 : 該当しない

優先評価化学物質 : No. 106 プロパン-1, 2-ジオール
No. 152 2, 2', 2'' 2''' - (エタン-1, 2-ジイルジニトリロ) 四酢酸の
ナトリウム塩

No. 173 N, N-ビス(2-ヒドロキシethyl)アルカンアミド (C=8, 10, 12, 14, 16, 18、直
鎖型)、(Z)-N, N-ビス(2-ヒドロキシethyl)オクタデカ-9-エンアミド 又は (9
Z, 12Z)-N, N-ビス(2-ヒドロキシethyl)オクタデカ-9, 12-ジエンアミド

No. 271 α-(アルキル (C=6~18))-ω-ヒドロキシポリ [オキシ
エン-1, 2-ジイル/オキシ (メチルエタン-1, 2-ジイル)]
(数平均分子量が1, 000未満であるものに限る。)

No. 276 ジエチレングリコールモノブチルエーテル

消防法 危険物 : 該当しない

安衛法

危険物 : 該当しない

表示物質 : ジエチレングリコールモノブチルエーテル

N, N-ビス(2-ヒドロキシethyl) (ココアミド)

エチレンジアミン四酢酸四ナトリウム

通知対象物質 : ジエチレングリコールモノブチルエーテル 2%

N, N-ビス(2-ヒドロキシethyl) (ココアミド) 2%

エチレンジアミン四酢酸四ナトリウム毒物劇物取締法 2%

皮膚等障害化学物質 : 該当しない

毒物劇物取締法 : 該当しない

化学物質排出把握管理 : 管理番号 579

促進法 (PRTR)

アルファールキルーオメガーヒドロキシポリ [オキシエタン-1, 2-ジイル/オキシ (メチルエタン-1, 2-ジイル)] (アルキル基の構造が分枝であり、かつ、当該アルキル基の炭素数が9から11までのものの混合物 (当該アルキル基の炭素数が10のものを主成分とするものに限る。)) 7.5%

管理番号 595

エチレンジアミン四酢酸並びにそのカリウム塩及びナトリウム塩 5.0%

管理番号 627

ジエチレングリコールモノブチルエーテル 2.2%

管理番号 707

N, N-ビス (2-ヒドロキシエチル) アルカンアミド (アルカンの構造が直鎖であり、かつ当該アルカンの炭素数が8、10、12、14、16又は18のもの及びその混合物に限る。)、(Z)-N, N-ビス (2-ヒドロキシエチル) オクタデカ-9-エンアミド及び (9Z, 12Z)-N, N-ビス (2-ヒドロキシエチル) オクタデカ-9, 12-ジエンアミド並びにこれらの混合物 1.7%

その他の法令

船舶安全法	: 該当しない
航空法	: 該当しない
海洋汚染防止法	: 該当しない

16. その他の情報

引用文献

- ・ JIS Z 7253:2019 「GHSに基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法-ラベル、作業場内の表示及び安全データシート (SDS)」
- ・ JIS Z 7252:2019 「GHSに基づく化学物質等の分類方法」
- ・ GHS Ver. 6 (UN) 2015.7
- ・ 独立行政法人 製品評価技術基盤機構のGHS分類
- ・ 原材料メーカーの安全データシート

記載内容の取り扱い

本記載内容は現時点で入力できる資料、情報、データに基づいて作成しておりますが、含有量、物理化学的性質、危険、有害性等に関しましては、いかなる保証をなすものではありません。

また、注意事項は、通常の取り扱いを対象にしたもので、特殊な取り扱いの場合には、用途、用法に適した安全策を実施の上、御利用ください。